

# 風土記の丘の花だより<sup>243</sup>

今、そしてこれから見られる植物(2024年7月6日)

梅雨入りが遅かったのに、入ってからはよく降りますね。各地からの水害のニュースには心がいたみます。先日の植物観察会「フトシ先生と観る風土記の植物②」は、雨も降らず、多くの方に参加していただき、盛大にそして楽しく終える事ができました。ありがとうございました。



大駐車場のトイレ周辺でハマオモトの白い花が咲いています。紀州の海岸ではごく普通に見られ、決して珍しい植物ではありませんが、改めて見てみると、きれいで大きく豪華で、かつ涼しげな花です。浜木綿という漢字をあてた「はまゆう」という名前は、正式な標準和名ではなく、いわゆる通称です。多くの方がそう呼ぶので、「はまゆう」という方が通りがいいですね。柳川家の北側の通路沿いにも植えられていますが、さて、今年は咲くでしょうか？この花が咲いたら、いよいよ「夏が来た～～！」って感じがしますね。



メハジキの花が咲いています。場所は説明しにくいですが、花だよりを置いている台の前のマンホールから10歩余り坂を上って、左の茶色の幹の木の向こうを覗いてください。メハジキって、余り聞き慣れない名前でしょうか？夏から秋にかけて、日当たりの良い所に咲くシソ科の草花です。この株はウチの職員が植えたもので、まだ小さいですが、紀ノ川の河原などでは背丈ほども伸びたものをみることができます。華美ではありませんが、魅力的な花ですね。ユウスゲの開花のピークが過ぎて、ヤブカンゾウが咲き始めました。前に咲いたトウカンゾウやユウスゲは一重咲きでしたが、ヤブカンゾウは八重咲きなのが特徴です。それで、ちょっとスマート感がないですね。でも、見ようによっては豪華にも見えます。トイレ手前の坂道では、この時期、特にアジサイの青とのコントラストがきれいです。ヤブカンゾウの花が終わると、次は夏の終わり頃、ノカンゾウが咲きます。まだずっと先ですが、お楽しみに。それは一重です。



小早川家の庭で八重咲きのムクゲが咲いています。ハマオモトでも書きましたが、ムクゲが咲いても「夏が来た～～！」と感じますね。ムクゲは花の少ない夏の時期に咲くので重宝され、多くの品種が作られました。白やピンク、そして真ん中だけ赤い日の丸みたいな花もあります。修復古墳の東にもたくさんのムクゲが植えられています。この花はお隣の国、韓国の国花として知られています。ところで、日本の国花は何でしょう？桜？菊？そんなイメージですが、はっきり決まっているのでしょうか。どっちかな？それとも両方？松下